



INFORMATION MAGAZINE THE JOURNAL

ザ★ジャーナル!!

National Hospital Organization Okayama Medical Center

Vol.6
No.2

やさしさ便り～岡山医療センターの今

CONTENTS

- 2 特集 看護部 看護部の紹介
- 6 センター NEWS
- 8 看護学校通信
- 9 健康レシピ／地域医療連携室
- 10 健康ワンポイントレクチャー
- 11 コラム こころが喜ぶログ／臨床研究推進室便り
- 12 TOPICS!／医療安全通信／編集後記

地域医療支援病院
がん診療連携拠点病院

岡山医療センターの理念

人にやさしい病院

—Human Friendly Hospital—

- 1 患者さまにやさしい病院を目指します
- 2 病院で働く人にやさしい病院を目指します
- 3 地域の人にやさしい病院を目指します

第65回 国立病院総合医学会
明日の医療のために チャレンジ そして チェンジ

2011年10月7日(金)～8日(土)

会場 岡山コンベンションセンター・ホテルグランヴィア岡山
岡山市デジタルミュージアム・岡山全日空ホテル
会長 三河内 弘 院長(独立行政法人国立病院機構岡山医療センター)
副会長 宗田 良 院長(独立行政法人国立病院機構南岡山医療センター)



携帯サイトを
開設しました!

表紙写真:2011.6.11 病院フェスタ
撮 影:近藤 博行

看護部長挨拶

看護部長 三宅 弘恵(認定看護管理者)

東日本大震災から6ヶ月が経過しようとしています。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。福島原発の問題も解決のめどは立たず、本当に幸せとは何か、自然・環境の大切さについて考える日々が続きます。病院理念である「人にやさしい病院」を実現するため、看護職員は24時間ベッドサイドにいる専門職として大きな役割があります。看護部の理念「温かい手・やさしいまなざしで患者様と共に歩む知的な看護を目指します」はその役割を示しています。看護の原点はやはり確かな技術や知識に基づいた実践力です。そこには温かい手で患者様に触れ、やさしいまなざしの中にある観察力、判断力が求められています。また、病院全体では職員にもやさしい病院を目指して働き続けられる体制を

整えていきます。まず子育て支援として、新しく11月にオープンする西棟の1階は院内保育園(くるみ園)として広く整備され、定員80名となります。今も行っている病児保育の部屋も整備されます。今年4月から日曜日も月2回保育を開始しました。毎年40名前後の看護職員が出産し、産前産後休暇・育児休暇(1~3年)を利用して復職しています。またお子さんが小学校就学前まで勤務時間の短縮、育児時間の取得等が出来ます。現在23名の看護職員が制度を利用し、子育てしながら勤務しています。看護職として知識技術を身につけ、キャリアを積み重ねる体制も整えています。私たちと一緒に看護師として成長していきたいと思います。笑顔の素敵なあなたをお待ちしています。

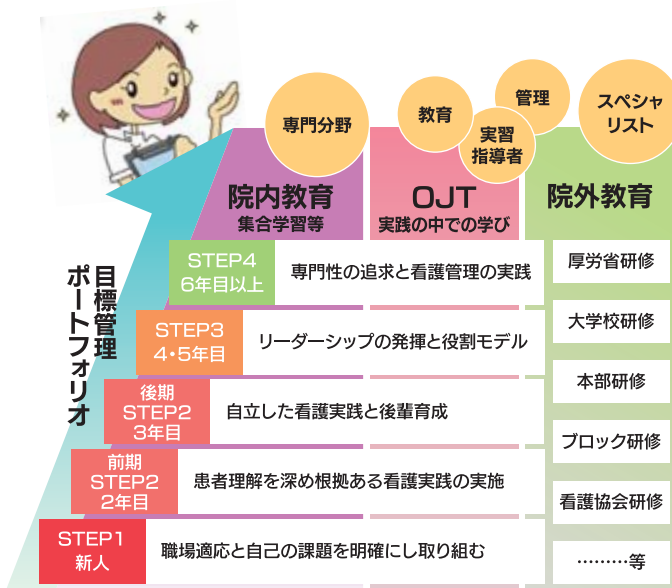


成長を支援する新人看護師の指導体制



平成23年11月には新病棟の開設があり、更なる進化に向け取り組んでいます。今年度、看護部の目標のキーワードは「チャレンジそしてチェンジ」です。看護師としての夢や目標に向かって、専門職として学び続け、質の高い看護を実践することが私たちの喜びとやりがいにつながっています。教育体制の充実と研修環境の拡充を図り、病院全体で成長を支援していきます。

研修プログラム



■ 5 A病棟

5 A病棟は、ICU・CCU・P-CCUからなる集中治療部門です。医師・看護師だけでなく、様々な職種がチームとなり、QOLを念頭に置いた高度な急性期集中治療・看護を提供しています。カンファレンスを行い、一人一人に合った看護を目指しています。



■ 5 B病棟

5 B病棟は、赤ちゃんにやさしい病院としてユニセフよりBaby Friendly Hospital という称号を頂いています。病棟の方針は「温かい手、やさしいまなざしで赤ちゃんにやさしい医療と看護を提供します」目標を「24時間赤ちゃんを見守り、後障害のない成長発達を目指します。母子分離中の赤ちゃんに対しても、



可能な限り母子同床などを行い、母乳育児を実践します。」を掲げ、母乳育児の推進と24時間面会を祖父母・きょうだいまで拡大し家族ケアを実践しています。

■ 6 A病棟

6 A病棟は母乳育児を推進している病棟です。1991年にWHOユニセフから先進国で初めてBFH（赤ちゃんにやさしい病院）に認定され、「命をつなげこころを育てる母乳育児」を理念としています。H17年に総合周産期母子医療センターとして認定を受け、岡山県内のハイリスク妊産婦を受け入れています。助産師を中心に、何よりも母子を離さない環境を整え、STS(出生後早期の母子接触)、母子同床、母乳育児を大切に母子支援を行っている病棟です。



■ 6 B病棟

6 B病棟は、15歳（中学3年以下）までの小児を、全科にわたり、対象としています。私たちは、こどもの権利を尊重し、優しく・安全で信頼され、こどもたちの笑顔につながる医療・看護を提供します。小児入院管理料Ⅰ、5対1の手厚い看護と、保育士を中心に、集団保育や、季節ごとのお



楽しみ会を行い、入院生活が楽しく過ごせるように援助しています。



■ 7 A病棟

7 A病棟では、腎臓内科・腎臓外科(腎移植)・泌尿器科・整形外科における入院患者の受け入れを行っています。腎臓内科における専門的治療として、血液透析・腹膜透析に関する専門的看護を提供し、腹膜透析に関しては、専門外来にて継続的指導を行っています。腎移植に関しては、多職種によるカンファレンスを行い、患者様が安心して退院が出来るように



チーム医療の提供を行っています。整形外科領域においては、せん妄予防に関する看護研究を通して、質の高い看護を提供できるよう日々取り組んでいます。

■ 7 B病棟

消化管疾患や肝胆膵疾患など全ての消化器疾患を対象とし、手術や内視鏡治療、化学療法などの急性期治療をしています。私たちは、患者様やご家族が十分に納得して治療が受けられるようにサポートし、患者様が安心して治療に専念できるよう、安全できめ細やかな看護を心がけています。



■ 8 A病棟

8 A病棟は、耳鼻咽喉科、眼科、内科、形成外科などの大人から子供まで様々な疾患の方を受入れておりとても勉強になります。先生や他職種の方とのカンファレンスも積極的に行い、患者さんにとってよりよい



い生活環境が整えられるよう退院調整にも力を入れています。スタッフも若い人が多く、元気いっぱい。日々、看護のジェネラリストをめざして頑張っています。

■ 8 B病棟

8 B病棟は、血液内科・皮膚科の病棟です。23床の無菌ルームを備え、化学療法から造血幹細胞移植に至るまでの治療を行っており、非常に専門性の高い病棟です。毎週定期的に、医師・看護師・他職種等とのカンファレンスを行っており、患者様の思いに添った医療が提供できるように、日々頑張っています。



■ 9 A病棟

脳外科と神経内科の病棟です。SCU(脳卒中集中治療室)があり、脳神経系のプロフェッショナルが揃っています。脳卒中リハビリテーション看護認定看護師と集中ケア認定看護師が在籍し、ベッドサイドでの根拠に基づいた看護ケアを実践の中で教える環境を整えています。9 Aは仕事を皆で頑張り、オフは病棟イベントを計画してチームワークを大切にしています。私達と一緒に、頭と身体のメカニズムを学び、患者様のQOL向上を目指しましょう。



■ 9 B病棟

循環器科は5 A CCU、PCCUと連携をとり心臓カテーテル検査・治療や肺高血圧症の治療で全国から患者様が入院してきます。



心臓血管外科は手術後早期にリハビリを開始し社会復帰に向けた援助を行っています。代謝内科は糖尿病教育入院患者様の知識・技術の習得に向けた援助を行っています。急性期から慢

性期の患者様がおられ、忙しい病棟ですがスタッフ間のコミュニケーションを大切に活気ある病棟作りを心がけています。



■ 10 A病棟

10 A病棟は、中四国の脊椎外科・外傷関節外科センターとして脊椎や人工関節手術を受ける患者様の急性期から機能回復・社会復帰に至るまで、幅広く質の高い看護を提供出来るよう日々、スタッフ一丸となって取り組んでいます。



■ 10 B病棟

当病棟は呼吸器科・呼吸器外科の病棟です。「あなたの気持ちを支持します」をスローガンに、病気と闘っている患者様や御家族に少しでも笑顔が見られるように支援したいと考えています。そして、患者様の意思決定をサポートし、安全で安心と納得のできる医療がうけられるよう、多職種とともにチーム医療をすすめています。



■ 中央手術室

急性期病院として当院の手術件数は、年々増加し年間6000件を超えています。スタッフは看護師経験年数5年目以下が約半数を占めるパワーいっぱいのチームです。患者さんに優しく、安全な手術を丁寧かつ迅速に提供できるように医師、看護師、MEなど多職種のスタッフが一致団結し、明るく楽しくをモットーに日々頑張っています。近年では男性看護師も多く、女性に負けず活躍していますよ～!!



■ 外来

外来は、26診療科の外来診療を行っています。そして地域医療連携室を通して患者様の受け入れを行い、各





診療科での情報の共有をはかり、専門診療科で連携を図り、治療・検査・処置・看護を行っています。また、1日平均患者数は850人であり、専門性の高い各診療科で医師の診療の補助

を行い、看護師・クラークで患者様が安心して診療が受け帰っていただける環境の提供ができる様努力しております。

■地域医療連携室

地域医療連携室では、医療機関からの紹介患者様の症状に対し、看護師として専門的な立場で迅速な対応が可能というメリット



を活かし、事務助手とともに受診予約を行っています。また退院調整看護師として医療ソーシャルワーカーとともに院内多職種と協働し、患者様が安心して次の療養先へ移行できるよう、各関連機関と連絡調整しながら退院支援を行っています。

■臨床研究推進室(治験管理室)

臨床研究推進室において、看護師4名が治験や臨床研究の推進のために、CRC(治験コーディネーター)として働いています。看護の視点を生かし被験者様の気持ちを大切にしながら日々頑張っております。



■リソースナース室

専門職としてのキャリアアップができる!当院では、現在2分野2名の専門看護師と7分野8名の認定看護師がいます。「リソースナース室」に



所属し、各分野のエキスパートとして患者様によりよい看護ケアを提供するため、施設の看護力の向上のために日々奮闘しています。キャリアアップを目指す看護師には資格取得までの援助、有資格者には活動しやすい環境の調整など施設からの支援があります。



リソース ナース室 通信

Vol.9



皆さん。こんなことを
やってほしい!というリクエストを
お待ちしております!

今年度からリソースナース室の一員となりました。現在は、ICUを中心に急性期の患者・患者家族を対象に看護実践を行っています。集中ケア認定看護師のお二人と共に、また、リソースナース室の皆様と協働し、急性期の患者様とご家族、そして集中ケアに携わるスタッフの方々の支えになれるよう努力していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

急性・重症患者看護専門看護師・集中ケア認定看護師
中山智代美

再就職チャレンジ講座

再就職を希望する看護師の知識・技術面の不安に対する支援、地域への貢献を目的に取り組んでいます。質の高い専門領域の知識と技術が求められる時代です。ブランクが少しでもあれば、不安が付きまとうのは当たり前です。そんな不安を少しでも軽減し、看護師というライセンスを持って働く使命感を取り戻すお手伝いができれば本当にうれしいことです。



看護師 募集!!



来年度は、岡山市立金川病院の運営を担うこともあり、150名という看護職員の募集活動を行っています。明るく元気な看護師を募集中!急性期の病院だからできる、たくさんの経験を積み重ねて、目指す看護師像に近づけるよう支援します。HP・パンフレットの改訂、合同説明会、学校訪問、インターンシップ、募集広告など様々な方法で岡山医療センターの魅力を伝えています。自分の目を見て、感じて判断してもらいたいと思います。

センターNEWS

OKAYAMA MEDICAL CENTER



雨雲も退散! 今年もフェスタ無事開催!! — 6月11日(土) —

■9B副看護師長 吉川 由美
■経営企画室長 齊藤 隆夫



例年、11月に実施していた病院フェスタ。今年で5回目となりますが、当初、開催時期をいつにするかで意見が分かれました。なぜなら、新棟オープン、国立病院総合医学会等が秋頃に予定されており、本当にできるのかと。最終的に少し早めの6月開催と決定されました。前夜の激しい雨音を聞きながら、どうなることかと、ハラハラしながら迎えたフェスタ当日。当日の朝は、雨が激しく降っていましたが、オープニング準備を始める頃には、すっかり雨も止み、

なんと、空も明るくなってきているではないですか。今までいつも晴天で迎えていたフェスタが今年はどうなるかと思っていましたが、さすが「晴れの国 岡山」なのか、病院スタッフに強力な晴れ男か晴れ女がいたのでしょうか。いや、やはり、職員の皆様の「成功、ふれあい、交流」への熱い想いが雨を一掃したのだと思います。まだ、残っていた薄雲もオープニングの関西高校吹奏楽部の演奏で吹っ飛んで行きました。パフォーマンスも織りまぜて、迫力ある演奏から親しみのある曲まで、楽しませていただき、観客も盛りあがりました。地元自治会の田益協栄による地域特産物販売コーナーは、朝から大盛況。すでにお馴染みとなった、外科手術体験、患者体験、看護体験、リフレッシュ体験、院内探検ツアー、手術室体験、院長・看護部長体験、メタボを学ぼう、臨床検査体験、リハビリ体験、調剤体験



等の体験コーナーをはじめ、モザイク画、模型展示、バザー、コンサート、ネイルアート、スーパーボール、ヨーヨー、看護フェアも例年にも増して多くの地域住民の皆様に参加いただきました。ファジアーノ岡山の木村社長による講演会は、サッカーチームの現状をおもしろおかしく紹介いただきました。福祉用ロボットスーツ体験、口の中を観察しよう、めざせ未来の薬剤師、の新企画も目白押し。例年、展示している各診療科紹介のパネルに加え、今回は、東日本大震災にともなう当院からの救援活動の様子（医療班、被爆スクリーニングチーム）を地域の皆様へご紹介するため、パネル展示し、また、売り上げの一部を義援金として寄付することとし、1日も早い復興を祈願いたしました。

白バイやはしご車を楽しみにして、来院した小さいお子さんののがっかりした顔は、つらかったけど、毎年楽しみに来てくれているという方、一度来たことはあるけど毎年開催しているとは知らなかった方、今日はありがとう!また来ますと笑顔で言っていた方にお会いして、また来年も頑張ろうと思いました。

一致団結すれば、このような素晴らしいイベントを成功させることができます。熱意の賜物です。これからも何事にもガッツ&チームワークで、より良い病院を築き上げて行きましょう。



第6回地域医療連携の夕べ開催!!

■地域医療連携係長 大西 芳明

第6回目を迎えた『地域医療連携の夕べ』ですが、平成23年6月30日に開催し、おかげさまで、連携医療機関の方々をはじめ約250名の参加を得て、有意義な意見交換会となりました。今回は、「東日本大震災医療支援報告」と「完成間近の新病棟がメインテーマで、災害派遣チームの代表者による心熱くなる体験談や、東副院長からの新病棟完成予想図の紹介と運用構想の発表が行われました。私にとっても3回目の『連携の夕べ』でしたが、これまで以上に、院内外の先生方と連携

を深めることができたという手ごたえがあり、改めて、「顔の見える関係」の重要性を実感いたしました。



レガッタ!よかった!!盛り上がった!!!

■初期臨床研修医 皿谷 洋介

岡山大学医学部ボート部主催の鹿田レガッタが、毎年初夏に百間川の河川敷で開催されています。今年もスリナムでいうインド人到達の日である6月5日に開催され、私たち岡山医療センターは研修医有志たちから4艇出場しました。今年も小児科有志の先生方にご協力頂き、バーベキューや絶品料理に舌鼓を打ちながら、おいしく楽しく観戦しました。

レースでは、キャプテン岡田洋介（研修医一年目）率いるチーム「岡田ジャパン」と、キャプテン岡田裕子（研修医一年目）率いるチーム「岡田ジャパン」が、両指揮官の采配により男女共に準決勝進出という快挙を成し遂げました。お忙しい中ご協力して下さいました皆さん、ありがとう



ございました。来年もたくさんの方々に参加して頂けることを期待しています。



第5回がん市民公開講座開催!

■外科医長 内藤 稔

平成23年7月9日（土）約70名の参加者を迎え、岡山国際交流センターにおいて「ここまで進んだ胃がんの診断と治療」のテーマで市民公開講座が開催されました。胃がんは、日本人に非常に多いがんで、ピロリ菌がその発生原因と考えられています。胃がん治療は、胃カメラによる早期診断・治療から、がんを完全に切除する拡大手術まで日本のがん医療の最先端を担ってきました。講演では消化器外科医長の太田徹哉先生に、「胃がん治療の今と昔」の演題で内視鏡を用いた診断・治療から、体にやさしい腹腔鏡を用いた小さな傷で行う手術への変遷の話を、看護師の細川樹理さんに「胃がん手術患者の看護」の演題で、入院・手術から退院までがんの受け入れ+手術といった二重のストレスを出来

るだけと和らげる患者さんの立場に立った看護の話を、管理栄養士の井手 孝先生に「胃がん手術後の食事について」の演題で、手術後小さくなった胃で無理なく食べれる分割食や、食べやすい食事の工夫の話をいただきました。講演後も、胃がんの予防・診断・治療などさまざまな質問があり、非常に身近ながんであるとともに、検診など早期発見の大切さを改めて感じました。



～臨床指導者との国試対策～

看護助産学校教員 石川 涼太

現在看護学科3年生は夏季休暇に入り、来年2月19日に実施される第101回看護師国家試験に向けて一生懸命学習に取り組んでいます。毎年、夏季国家試験対策の学習会を計画していますが、今年度は7月20日からの6日間、院内看護職員の方々が講師として学生の学習支援に協力してくださいました。

6～10人の学生グループを1名の講師が担当し、毎日約30分間、循環器、呼吸器、消化器、内分泌、腎・泌尿器、運動器、脳神経の器官系統別の国家試験問題を解説していただきました。三宅看護部長をはじめ、副看護部長、看護師長、副看護師長、実習指導者、専門・認定看護師などの豪華な講師陣で学生達も最初は緊張していました。時間がたつにつれて緊張感とは和らぎ、とても和やかな雰囲気の中で集中して学習ができました。

学生達からは「問題に書かれている場面をイメージできとても分かりやすかった。」「質問した内容に熱心に答えてくださった。」「看護師さんの知識が豊富でかっこいいと思った。」「などの意見が聞かれました。問題文を解説する思考

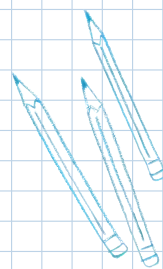
看護師目指して
みんなで
がんばってます!



過程の糸口がつかめたようで、今後の学習に取り組んでいく上で有意義かつ充実した時間となりました。

今後も臨床と学校がタッグを組み、学生達が「わかった」と実感できるよう学習支援を続けていくことで、3年生の国家試験全員合格を目指していきたいと思います。

この場をおかりして、ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。





栄養管理室 PRESENTS!

残暑にうれしいメニュー

豚肉のムニエル・ 野菜ピオーネ酢炒め添え

【材料】(2人分)

- 豚肉(好みの部位) 160g
- 塩・こしょう 少々
- 小麦粉 小2
- ナス 1本
- オリーブ油 小1

・ソース用

- 玉ねぎ 1/4個
 - セロリ 1/4本
 - オリーブ油 大1
 - ピオーネ酢 大4
 - 赤ワイン 大2
- (料理酒でもOK)
- 砂糖 小2
 - 醤油 小1



ピオーネ酢

岡山県の名産ピオーネを使ったお酢!
薄めて飲んでも、今回のように料理に使ってもおいしく頂けます!



1人前
エネルギー:250Kcal
たんぱく質:13.7g
塩分:0.9

【作り方】

- ① 付け合わせのナスは斜め切りにする。
ソース用の玉ねぎ、セロリは薄切りにする。
- ② 豚肉に塩、こしょうをして小麦粉を薄くつけておく。
- ③ フライパンにオリーブ油を入れ熱し、ナスを焼き続けて豚肉も同じフライパンで焼く。
- ④ ナス、豚肉に火が通ったら取り出し、同じフライパンにオリーブ油を足し玉ねぎ、セロリを炒める。
- ⑤ ④に分量のピオーネ酢、赤ワイン、砂糖、醤油を順に加えて5分程度煮る。
- ⑥ 取り出して盛り付けておいた豚肉に⑤を添えて出来上がり。



POWER UP!! TOPICS

ブドウの果皮や種子に含まれるポリフェノールにはアントシアニン、レスベラトロールなどがあります。これらは抗酸化作用があるとされ、動脈硬化の予防に役立つと考えられています。

～地域医療連携室～ 連携診療施設紹介

ももたろう往診クリニック —支える医療へ—

院長 小森 栄作



外来を一切行わず、在宅医療に専門特化したクリニックです。通院が困難な患者さん宅へ定期的に訪問診療し、かかりつけ患者さんが調子悪いときには夜間・休日にも往診対応します。高齢などのため通院困難となった場合だけでなく、褥瘡の処置や胃瘻・高カロリー輸液・気管切開から癌末期の緩和ケアまで重症者にも対応しています。病院退院後、次回外来へ受診されるまでの間の自宅での療養生活に不安があるときなど、まずは病院地域連携室へ、または直接電話にてお問い合わせ下さい。

訪問診療範囲:岡山市内 (新保・青江から車で30分圏内が目安)
電話:086-242-3232 (受付 月～金 8:30～17:30)
ホームページ:www.momotaroclinic.jp



自助具とは、日常生活で困難を来している動作を可能な限り自分自身で容易に行えるよう特別に工夫された道具です。例えば、握力の弱い人の為に柄を太くしたスプーンもそうですし、靴を履く際に使用する靴べらも自助具になります。このように自助具とは、普段使用しているものから専門的な道具まで多彩な種類があります。今回は「リーチャー」について説明します。これは股関節が曲がりにくい、手が上がりにくい等の原因で、物を拾う・頭を触る等リーチ動作に困難をきたした人を助ける道具です。今回は①物を

拾うリーチャー②頭をとくリーチャーの2点を紹介します。①の作り方は、木の棒とねじ製のフックを取り付けるだけです。これで床に落ちたものをフックで引っ掛けて取ることが出来ます。②の作り方は、トイレ用ブラシ(柄の曲がつた)と普通の櫛を取り付けるだけです。これで手が届きにくい後ろ頭もとくことが出来ます。このように、普段販売されている道具を組み合わせることで簡単に自助具を作ることが出来ます。是非皆様のオリジナルあふれる自助具を作ってみてください。



① 物を拾うリーチャー



床に落ちたものをとるのが困難な場合。



木の棒とねじ製のフックを取り付けるだけ。

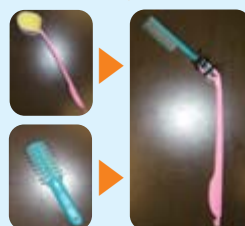


床に落ちたものをフックで引っ掛けて取ることが出来ます。

② 頭をとくリーチャー



後ろ頭などに手を伸ばすのが困難な場合。



トイレ用ブラシ(柄の曲がつた)と普通の櫛を取り付けるだけです。



簡単に後ろ頭も櫛でとくことが出来ます。



教育研修部 研修だより



新採用、転入者の宿泊研修を実施しました。

職員班長 谷川 弘司

岡山医療センターの宿泊研修は平成16年度に第1回目を開催し、今回で39回目を迎えました。今でこそ宿泊研修を行っている病院も多くなりましたが、開始当初は他施設にほとんど実績がなく、手探りの状態で行っていたと聞いています。今回の研修はこの春採用、転勤してきた職員のための接遇研修です。新人職員達も採用後3ヶ月が経過し、徐々に病院にも慣れてくると同時に、悩みや不安も出てくる時期です。また普段関わりが少ない他職種との接点をもつことは、これから仕事を続けて行く上で大きな利点となります。例年より少し大人しく感じられた研修生達も、研修開始から半日が経過する頃には、あちこちで笑い声が聞こえるようになりました。接遇が主な目的ですが、自分達に何ができるのかについて意見を出し合い、他の意

見を聞くことで刺激になり、病院スタッフの一員としての意識も大きく向上します。集合したときは「面倒だなあ」という表情もちらほらと見受けられましたが、討議、懇談、発表を経て2日目に帰る頃には「楽しかった」とみんなが言ってくれました。準備と運営の苦勞が報われる瞬間です。これからも参加する職員が、「来て良かった」と言ってくれる宿泊研修を計画していこうと思います。毎回出席していた院長先生、協力いただきましたスタッフに感謝します。



Column

こころが 喜ぶログ

フリーアナウンサー
遠藤寛子



言葉の選び方

以前、女性の取材対象者に向かって“親しみをこめて”「おかあさん」と呼びかけたことがあります。しかし、自分のそんな思いは届かず、「私はあなたのおかあさんではない」と、直接ではなく後日ディレクターを通して言われたことがあります。その方の真意はわからなかったのですが、とにかく「あなたにおかあさん呼ばわりされたくない」と思われる何かがあったのだと思います。

さて、感じのいい話し方をされる人はみなさんのまわりにもたくさんいらっしゃると思います。“感じのいい話し方”とは、爽やかな笑顔で表情豊かに話すことに加えて、「言葉の選び方」も上手いということなのではないでしょうか。

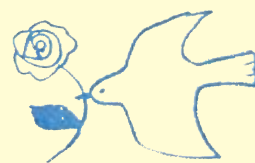
相手に不快感を与えない言葉



で、言葉を発する
人自身のキャラク

ターにも合い、またその場の雰囲気にもぴったり
言葉を手にお上手に選ぶことができる…みなさんなら
例えば「高齢者」という言葉をどのように言い表しますか。
「おじいちゃん、おばあちゃん」「お年寄り」「お年を召した方」「老人」「としより」…場面によっては「おじいちゃん、おばあちゃん」呼ばわりしないでと言われるかもしれませんし、反対にその言い方から優しさや温かみを感じることもあると思います。同じ言葉でも、使う人や状況によって相手が受ける印象もずいぶん変わってくるのではないのでしょうか。

状況に合わせた言葉を選んで使い分ける
ことができれば素敵ですが…言葉というのは本当に難しいものですね。



PROFILE 平成5年、山陽放送株式会社入社。在局中は夕方ローカルワイドニュース「山陽TVイブニングニュース」や県政・市政などのテレビ番組、スポーツ番組のレポートなどを担当。また、ラジオではお昼のワイド番組をはじめ、数多くの番組を手がける。平成12年に同社を退社後、フリーとして活動中。現在は、山陽放送テレビ・ラジオで朝の定時ニュース担当。またイベントや式典、ウエディングなど、様々なシーンでの司会進行でも活動が続ける他、マナー研修の講師も務める。

臨床研究 推進室便り

今回から、私たち『臨床研究推進室(治験管理室)』の仕事を紹介させていただくことになりました。

皆さんは、「治験」という言葉を聞いたことはありますか。新薬が広く皆さんのお手元に届くまでに、開発段階の薬(治験薬)を自由意思で同意をいただいた患者さまにご使用していただき、その薬の効き目や安全性の確認を行い、国(厚生労働省)の承認を得るための試験を行います。この試験を「治験」とよびます。私たち、臨床研究推進室では、これら治験を含む臨床研究の



臨床研究推進室において、看護師4名が治験や臨床研究の推進のために、CRC(治験コーディネーター)として働いています。看護の視点を生かし被験者様の気持ちを大切にしながら日々頑張っております。

おり、多くの患者さまの協力をいただいています。

次回以降は、岡山医療センターで行っている治験の紹介、治験コーディネーターと呼ばれる私たちの仕事内容など治験情報盛りだくさんでお送りする予定ですので、ご期待ください。



支援を行っています。薬剤師、看護師が日々、患者さまや医師のサポートを行っています。現在、肺高血圧症や糖尿病、癌による痛みに対する薬、また最近では、パーキンソン病や多発性骨髄腫に対する治療薬の治験を行って



地域医療研修室

セミナー・講演会 (9月・10月・11月)

会場:当院西棟8階大研修室
時間:19:30~20:30

日程	種別	演者
9月20日(火)	第111回初期治療セミナー	がん地域連携パスの稼動について 当院消化器科医長 山下 晴弘 ほか4名
10月18日(火)	第112回初期治療セミナー	医療によって生じる口腔疾患 当院歯科 角南 次郎
11月22日(火)	第113回初期治療セミナー	腹腔鏡手術の今と昔 当院外科医長 内藤 稔

看護職員募集中!

パートも同時募集中

看護職をしばらく離れていたけど
そろそろ働こうかと考えている方も
来春から看護師として
働こうと考えている方も
ご連絡ください!

新病棟 11月1日完成!
新金川病院 4月1日開院

**ご連絡
お問い合わせ
受付中**

病院内に保育所完備
技術向上のための研修設備有り!

岡山医療センターの看護
職員募集サイトの情報を
携帯電話からもご覧
いただけます。

人にやさしい病院
-Human Friendly Hospital-

独立行政法人 国立病院機構
岡山医療センター

お問い合わせ 人事担当:忌部(いんべ)
TEL:086-294-9911
〒701-1192 岡山市北区田益171-1

医療安全
通信

ーセーフティマネジャー会議よりー

セーフティマネジャーのグループ活動 その1

病院全体の組織的な事故防止対策を進めるため、毎月院内医療安全ラウンドを行っています。診療部門、事務部門、検査部門など、病院職員が、組織横断的なグループをつくり、様々な視点で取り組んでいます。ラウンド内容は、転倒・転落事故防止の工夫や薬剤の管理、病棟の環境等です。



救急カート点検ラウンド風景

編集後記

暑かった夏も終わりました。甲子園は、岡山県代表関西高校がベスト4と大健闘。なでしこジャパンの優勝は、「あきらめない。皆で支えあって、強いものにも正々堂々向かっていく日本!」を体現して、全国民に勇気と元気を与えてくれました。NHK朝の連ドラ、『おひさま』も、今に通じる古き良き日本の心をウィットに富んだ演出と俳優の演技力で表現し、高視聴率を続けています(ちなみに、舞台は、私の生まれ故郷、信州松本です!)。『自信』を失いかけていた日本に、今、少しずつ、自信が取り戻されつつあるように感じませんか?震災復興や原発被害、政治不安など、まだまだ心配の種は尽きませんが、『自信』とは「自らを信じて進むこと」であり、自分(達)を信じる熱い心こそが、局面打開の力の根源になるのだと、再認識させられた夏でした。(大森 記)